

行動計画のひな型・テンプレート

WHO 多様的手指衛生改善戦略の実施のために

はじめに

行動計画のひな型は、WHO 多様的手指衛生改善戦略の実施のための現場での行動計画を準備するために、医療施設からの見本の依頼で提案されました。

それは非常に包括的ですが、現場の問題には注意を払っていません；そのため、医療施設は現場の状況に合わせる必要があります。

ひな型は提案された行動を理解するための時間軸順の適応を意図していませんが、WHO 多様的手指衛生改善戦略の実施ガイドライン第II部で述べられている詳細に従って、それぞれの戦略の構成要素の実施を確実にするために必要な全ての行動を提供するように意図されています。実施案内の部分で、WHO 多様的手指衛生改善戦略のそれぞれの構成要素を実施するために利用できるツールの使用法についても適応と指導を含んでいます。

ひな型は施設レベルでの手指衛生の進歩についての行動の広い範囲をカバーします；手指衛生プログラムを開始するために基本的行動が取られるべきところから、手指衛生推進が非常に進んでいる施設に適応される前進した活動まで。

ひな型はまた、役割と責任を認識し、実施される行動と資金関係のタイムラインを設定し、進展を追跡します。

全体的な行動計画のひな型

行動	指導者	時間枠（開始日と終了日）	予算（適応なら）	進行（検討と完了日を含む）
一般				
WHO 患者安全のウェブサイトでは WHO 「医療における手指衛生ガイドライン」 にアクセスする				
勧告の不変性を確認しつつ、現場に適応するよう WHO ガイドラインを適用する				
WHO 患者安全ウェブサイトでは WHO 「多様的手指衛生改善戦略」 の実施ツールキットにアクセスする				
手指衛生改善プログラム内のコーディネータとその代理人を確認する				
手指衛生コーディネータを支援するチーム/委員会を確認し設立する				
施設での手指衛生改善/感染管理の全ての最初の発議あるいは計画を確認する				
病院の最高経営責任者/院長あるいは上級管理者・部長と施設での現在の手指衛生/感染管理の進展に合致して実施する行動及び活動と WHO のガイドラインについて討論するために接触する				
行動を起こされている活動の見通しと広がりについて意見をまとめる				
利用できる人的資源と必要とされる活動はマッチしていますか？				
もし、方針、基準、プロトコル、SOP（決まった手順）、ケアバンドルなどが現在施設で使われているなら、それが手指衛生に焦点を当てられ、全ての臨床設定/医療従事者に広めるよう計画しているか確認する				

行動	指導者	時間枠（開始日と終了日）	予算（適応なら）	進行（検討と完了日を含む）
組織変革				
直接的に手指衛生改善プログラムに利用できる、現在の手指衛生順守及び/あるいは医療関連感染(HCAI)情報を検討する				
現在のインフラストラクチャーと資源を分析する:				
病棟インフラストラクチャー調査				
石けん/手指擦式剤消費調査				
最高経営責任者/院長/上級管理者・部長と長期目標で、各々の部屋に手洗いシンク、安全な水道の完備、石けんとペーパータオル（これが最も広範な/国家的計画にリンクしやすい）を提供するためのインフラストラクチャーをどのように改善するか討論する				
最高経営責任者/院長/上級管理者・部長と資源（それぞれの「ケアの現場」でのアルコール基剤の手指擦式剤を提供する）の利便性と利用の改善をどうするかを討論する				
アルコール基剤の手指擦式剤を製造するか調達するか決定する:				
得意先の利便性、効果、認容性とコストを考慮して（地元）市場からの購入を調整する				
「現場製造案内：WHO 推奨手指擦式剤処方」を検討する				
代理の職員/専門家と、施設で WHO アルコール基剤手指擦式剤を製造するために必要な（特に値ごろ感と安全の問題）実現可能性と行動について討論する				
WHO 推奨アルコール基剤手指擦式剤の製造のための財務スプレッドシートを開発するために WHO アルコール基剤手指擦式剤の計画と原価計算ツールを使う				
最高経営責任者/院長/上級管理者・部長とアルコール基剤の手指擦式剤を提供する国家的あるいは地域の計画を詳しく調査する				
評価プロトコルを使って認容性と受容性試験を行う				
水、手洗いシンク、石けん、タオルと手指擦式剤不足を扱い、このための適切な年間予算を確保するために必要なコストの財源計画を立てる				
もし必要なら、最高経営責任者/院長/上級管理者・部長と短期、中期と長期計画を支援するさらなる財政援助の可能性を調査する（例えば、厚生労働省を介する/ドナーファンド/企業からの献金/その他の寄付）				

行動	指導者	時間枠（開始日と終了日）	予算（適応なら）	進行（検討と完了日を含む）
教育／トレーニング				
現場人数、ニーズとその他の問題に基づいた医療従事者トレーニングのための必要条件を確立する				
WHO トレーニングツールに基づいたトレーニング/教育プログラムを検討/企画する				
トレーナーを確認する（施設当たり少なくとも一名）				
観察者を確認する（施設当たり少なくとも一名）				
役割に応じてトレーニングされ実施するトレーナーと観察者のための、上級管理者・部長からの支援のある時間を保証する（例えば、同意署名）				
トレーナーのトレーニングを実施する				
観察者のトレーニングを実施する（観察者が追加の特別なトレーニングを受ける前に、トレーナーと観察者は同じセッションで同じベーシック・トレーニングを受ける）				
医療従事者のためのトレーニングを開始、継続と評価するための時間枠を含む計画を立てる				
全ての管理者とスタッフと医療従事者のトレーニングに必要な時間を確保する相談をする				
不参加あるいは参加不足の職員に対する行動計画を含むトレーニング・セッションの上級管理者・部長への報告システムを確立する				
トレーニング・プログラムを施設全体の財務計画に組み込む				
トレーナーの更新トレーニングと能力チェック（例えば、年一回）のためのシステムを確立する				
全ての医療従事者の更新トレーニングと能力チェック（例えば、年一回）のためのシステムを確立する				
長期的な、機運とやる気を維持させるための補助的トレーニング資材あるいは追加の活動を準備するための計画（例えば、医療従事者のための手指衛生問題における昼休み討論を準備；e-ラーニング資材の作成；手指衛生における新人を教育するためのバディ・システムの確立）				
更新トレーニング資材のためのシステムを確立				

行動	指導者	時間枠（開始日と終了日）	予算（適応なら）	進行（検討と完了日を含む）
評価とフィードバック				
以下を含む評価とフィードバック活動を企画あるいは検討する：				
手指衛生観察				
病棟インフラストラクチャー調査				
石けん/手指擦式剤調査				
医療従事者のための受容調査				
上級管理者・部長のための受容調査				
医療従事者のための知識調査				
アルコール基剤の手指擦式剤の認容性と受容性調査				
評価とフィードバック活動のための時間枠を含む計画を立てる				
必要とされる全ての専門家（例えば、疫学者、データ管理者）の確認を盛り込む				
評価とフィードバック活動を施設全体の財務計画に盛り込む				
順守率、知識とインフラストラクチャーの貧弱さを扱う活動計画を含む評価結果を上級管理者・部長に報告する全体的なシステムを確立する				
観察者のための計画を作るために「手指衛生テクニカル・リファレンス・マニュアル」を利用する				
観察者にふさわしい候補者を確認する（もしまだ行っていないならば）				
現在任についている観察者のトレーニング及び能力チェックのためのシステムを確立する（例えば、年一回）				
以下を使うことを考慮して、主要な医療スタッフのベースライン評価とフィードバックを実施する：				
データ入力と分析のためのデータ入力・分析ツールと使用説明書				
データ要約報告フレームワーク				
同意されたスケジュールに基づいて現在行われている観察のための計画を準備し配布する（例えば、年一回、しかし理想的には毎月）				
手指衛生実施チームと上級管理者・部長に四半期毎あるいは同意されたスケジュールで観察結果をプレゼンする				
全ての主要なスタッフの同意に基づきそして、現在の手指衛生順守率の事実を考慮して、手指衛生順守率改善の年間目標を決める				

行動	指導者	時間枠（開始日と終了日）	予算（適応なら）	進行（検討と完了日を含む）
評価とフォードバック（続き）				
施設における医療関連感染率の現在の情報を算定する				
手指衛生順守率と並行して進行中の基準に基づいて医療関連感染率を監視するシステムを確立する				
もし可能なら、上級管理者・部長に知らせるために費用効果比分析を実施し、手指衛生における将来の出資を確保する				
現場、地域あるいは全国および WHO 患者安全ウェブサイトへの公開のために施設の手指衛生改善の事例研究を準備することを考慮する				
施設での手指衛生改善と医療関連感染率を論文審査のある学術誌、業界誌あるいは国際的ニュースレターに公開することを考慮する				
施設での手指衛生改善と医療関連感染率のデータを現場、全国あるいは国際的学会でプレゼンすることを考慮する				
作業現場におけるリマインダー				
現在あるリマインダーと新しいリマインダー開発のための地域の専門家を含む利用可能な資源を評価する				
改訂あるいは新しいリマインダー制作のために必要な物を規定する				
必要なコストと財政資源を規定する				
WHO 患者安全ウェブサイトアクセスしポスターとチラシをダウンロードし、複製するためのコストを調査する				
全ての臨床設定にポスターを提供しあるいは掲示する				
ポスターが良い状態でそして適切な場所に明確に掲示されていることを確認する（例えば、「ケアの現場」、手洗い洗面台の上）				
トレーニング中の全ての医療従事者にチラシを渡し、全ての臨床設定に掲示する				
ポスターとチラシ以外の革新的なアイデアを含み、現在進行中の基準に基づいて補助的あるいは気分を変えたリマインダーを制作する計画				

行動	指導者	時間枠（開始日と終了日）	予算（適応なら）	進行（検討と完了日を含む）
組織安全文化の構築				
システム変革、トレーニング/教育、評価とフィードバックと作業現場のリマインダーを確実なものとするための全てのその他の行動が取られることを明確にする				
主要な上級管理者と施設管理者からの進行中の支援を確認し確保する				
手指衛生に投資し続けるように上級管理者を勇気づけるため、彼らに手指衛生を擁護するように手紙を準備し送る				
もし可能なら、投資対効果検討書（手指衛生推進の費用効果比の現場評価）を準備し、上級管理者・部長が手指衛生に継続的に投資することを確実にするようにプレゼンする				
手指衛生発議を共感させるための管理者への手紙を準備し送る				
施設の行動計画を実施するための委員会を設立する				
フィードバックの定期的な会合とそれに応じた行動計画の見直しを確立する（すでに存在する委員会が手指衛生改善を扱う受け皿として選ばれるかもしれません）				
（内部の通信での専門家による助言が利用できる）施設全体での手指衛生活動を公表する計画を準備する				
現在進行している基準に基づいて手指衛生活動のニュース公開を更新あるいは継続できる全ての領域での主要スタッフを確立する				
現在ある医療改善活動への患者/患者団体の参加を検討し、患者団体と継続中の討論/共同活動の開始についての時間枠を考慮する				
「手指衛生発議で患者と患者組織を結びつける案内患者」を利用する				
患者調査の実施を考慮する				
患者アドボカシー活動を開始する（例えば、患者への手指衛生情報チラシの提供と教育セッションを計画する）				
特別の医療従事者、病棟あるいは科による良き手指衛生順守に報奨あるいは感謝を行う発議を実施することを考慮する				
手指衛生を施設の指標と年間目標の中に組み込む				
機運とやる気を維持するための補助的トレーニング資材あるいは追加の活動を組織するための計画（例えば、例えば、医療従事者のための手指衛生問題における昼休み討論を準備；e-ラーニング資材の作成； 命を守る ：きれいな手で！の推進 DVD を使って、手指衛生における新人を教育するためのバディ・システムの確立）				